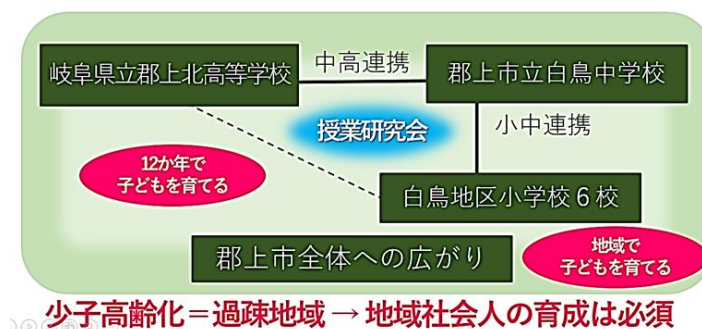


研究推進委員会通信

平成 30 年 6 月 18 日

今年度も、郡上市内の小・中学校の指導方法を参観することで、自らの授業改善に役立てることを意図して、1年に3回実施される郡上市教育研究会主催の授業研究会への参加をお願いしています。本校の生徒のほとんどが郡上市内の中学校出身であることや、6割近い生徒が白鳥地区から通っている実態から、継続した指導を続けていくことは生徒の学びやすさにもつながることが考えられます。今回の授業研究会には若手教員の先生を中心に参加していただき、生徒がより理解しやすい授業を目指すために取り入れた方がよいことを学んできていただきました。



岐阜県教育委員会は平成 40 年度までには 9 校が 1 学年 3 クラス以下になるという予測を示しています。もちろん統廃合等により学校数や学校規模が変化することは考えられますが、岐阜県の高等学校の 28.7%が小規模校になる試算です。その多くの学校が中山間部の学校です。それらの学校は「地域で活躍する地域社会人」の育成を目指すことになると思います。ぜひ 12 か年を見通した学習指導にも目を向けてください。

小・中学校の授業研究会に参加された先生の感想は以下のとおりです。

本校の学習指導で取り入れると良いこと

- ・課題を提示し、授業を進める。
- ・パフォーマンス課題をゴールにした授業計画が中心となっており、高等学校でも筆記試験以外の評価を取り入れていくと良い。
- ・生徒の発問・応答を通して深い理解と学びにつなげていた。
- ・授業内の実践 1 つ 1 つに意図があった。

様々な知識やスキルを総合して使いこなす（活用

する）ことを求めるような、複雑な課題

どのように自らの授業改善をしようと考えたか

- ・いかにわかりやすい言葉で授業を行うことができるか。
- ・学習目標の設定（生徒にとってわかりやすい表現のもの）。
- ・生徒の主体性を大切にする。思考力・判断力を育むような課題を与えたい。
- ・どのような能力を育てていくのか、という視点。

7 月 4 日（水曜日）5・6 限に吉田先生から白鳥図書館の方を招いて授業を実施するというご案内をいただきました（詳細は後日）。短時間でも大丈夫とのことですので、この機会に図書館へ足を運んでください。